

科目名 (英)	臨床関連医学 (Clinical Medicine)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小川恵子
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日 3限
教員の略歴	昭和63年弘前大学医学部卒業医師免許取得 東北大学大学院医学博士 みちのく記念病院勤務						
授業の学習内容	眼科領域及び関連外科の代表的疾患の病態生理を解説する。内科学に関しては循環器、呼吸器、代謝性疾患など分野別に疾患の病態生理を解説する。生理学、解剖学、病理学に関連する内容であり、医療職の人間に必要な知識を解説する。						
到達目標	眼科関連疾患以外の医学全般における基礎的な知識を習得する。 それにより、基礎疾患をもった患者さんに適切な対応が可能となる。チーム医療を担う視能訓練士の質の向上につながる。						
評価方法と基準	定期テスト100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/10	講義	救命救急の方法について説明できる	口頭試問のために復習
2	9/17	講義	一般外科疾患を説明できる	口頭試問のために復習
3	9/24	講義	循環器疾患を説明できる	口頭試問のために復習
4	10/1	講義	呼吸器疾患を説明できる	口頭試問のために復習
5	10/8	講義	消化器疾患を説明できる	口頭試問のために復習
6	10/15	講義	糖尿病を説明できる	口頭試問のために復習
7	10/22	講義	内分泌を説明できる	口頭試問のために復習
8	10/29	講義	アレルギーを説明できる	口頭試問のために復習
9	11/5	講義	腎疾患を説明できる	口頭試問のために復習
10	11/12	講義	臓器別感染症を説明できる	口頭試問のために復習
11	11/19	講義	細菌性感染症を説明できる	口頭試問のために復習
12	11/26	講義	ウイルス感染症を説明できる	口頭試問のために復習
13	12/3	講義	脳外科疾患を説明できる	口頭試問のために復習
14	12/10	講義	眼科疾患を説明できる	口頭試問のために復習
15	2/4	試験解説	試験解説を行う。	解説内容をノートにまとめる。
準備学習 時間外学習			教科書を熟読する。	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
一般臨床医学 医歯薬出版				

科目名 (英)	臨床心理学 (Clinical Psychology)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	齋藤永子
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 曜日・時限 火曜・3限
教員の略歴	元・聖和短大保育科教員(臨床心理・障害児保育等)、現・POP子育て相談室主宰、臨床発達心理士、保育スーパーバイザー						
授業の学習内容	臨床心理学では、心に何か困難を抱えている人に、心理的援助を行うための理論や方法を学びます。人間について、より深く理解し、自分自身についてよく知り、今後の活動に生かします。						
到達目標	①臨床心理学という学問の基本的な考え方を理解する。 ②こころの問題についての基礎的な知識を学ぶ。 ③こころの治療に関する理論や技術について知る。 ④現代におけるこころの問題について関心をもち、考える。						
評価方法と基準	1. 定期試験(50%) 2. レポート(30%) 3. 小レポート(20%)						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	4/20	講義	オリエンテーション、臨床心理学の意義と目的が理解できる				
2	4/27	講義	臨床心理学の方法を理解できる				
3	5/11	講義 グループワーク	アセスメント①面接が理解できる。				
4	5/18	講義 グループワーク	アセスメント②検査・人格(1)が理解できる。	小レポート①			
5	5/25	講義 グループワーク	アセスメント③検査・人格(2)が理解できる。	小レポート②			
6	6/1	講義 グループワーク	アセスメント④検査・人格(3)が理解できる。	小レポート③			
7	6/8	講義 グループワーク	アセスメント⑤知能検査が理解できる。	小レポート④			
8	6/15	講義 グループワーク	アセスメント⑥発達検査を理解できる。	小レポート⑤			
9	6/22	講義 グループワーク	心理療法①精神分析を理解できる。				
10	6/29	講義 グループワーク	心理療法②来談者中心療法を理解できる。				
11	7/6	講義 グループワーク	心理療法③行動療法を理解できる。				
12	7/13	講義 グループワーク	心理療法④森田療法を理解できる。				
13	7/20	講義	心理療法⑤様々な療法を理解できる。				
14	7/27	講義	心の病気についてを理解できる。	小レポート⑥			
15	8/10	講義	現代の心の病と課題を理解できる。	小レポート⑦			
準備学習 時間外学習							
【参考書】 「スタンダード臨床心理学」サイエンス社、杉江征 他編							

科目名 (英)	視能検査機器学 (Orthoptic Device and Equipment)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉田美穂
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 月曜日 曜日・時限 1限
教員の略歴	眼科医院勤務を経て 仙台医健・スポーツ専門学校 視能訓練科 勤務 視能訓練士						
授業の学習内容	眼科一般検査の基本的知識を学ぶ。						
到達目標	各検査に必要な解剖生理を理解できる。 各検査の手順を理解し、検査方法、対象、正常値を説明できる。 各検査の結果を評価することができる。						
評価方法と基準	定期試験(100%)						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	4/19	講義	眼圧検査・隅角検査各種の検査方法や結果の見方を理解できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
2	4/26	講義	電気生理学検査各種の原理・方法 正常値を理解できる。(ERG・VEP)	講義内容に関してノートにまとめる。			
3	5/10	講義	電気生理学検査各種の原理・方法 正常値を理解できる。(VEP・EOG・EMG)	講義内容に関してノートにまとめる。			
4	5/17	講義	電気生理学検査 確認テスト 電気生理学検査について理解できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
5	5/24	講義	前眼部・透光体検査に必要な細隙灯顕微鏡の照明方法を説明できる。	小テストを実施する。			
6	5/31	講義	中心視野検査の検査原理・方法・結果の見方を理解できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
7	6/7	講義	静的視野検査・動的視野検査の検査原理・方法・結果の見方を理解できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
8	6/14	講義	角膜の解剖生理を理解できる。 各部の正常値を説明できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
9	6/21	講義	角膜検査各種の検査方法、正常値を理解できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
10	6/28	講義	眼底検査(直像鏡、倒像鏡、眼底カメラ)の検査原理を理解し説明できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
11	7/5	講義	画像検査①:眼底写真の読影方法について学び、代表的な疾患の所見が説明できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
12	7/12	講義	画像検査②:CT・MRIの原理について学び、読影ポイントが説明できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
13	7/19	講義	画像検査③:光干渉断層計(OCT)の検査原理を理解し、簡潔な説明ができる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
14	7/26	講義	画像検査④:光干渉断層計(OCT)の読影方法について学び、代表的な疾患の所見が説明できる。	講義内容に関してノートにまとめる。			
15	8/9	講義	試験解説	解説内容に関してノートにまとめる。			
準備学習 時間外学習				講義内容に対応する教科書のページを熟読し、ノートまとめをする事。			
【使用教科書・教材・参考書】 □							

科目名 (英)	視覚障害者リハビリテーション (Rehabilitation Studies)	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	菅原みずえ
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義・実 習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 水曜2限
教員の略歴	視能訓練士として大学病院に勤務経験あり 眼科一般検査全般及びロービジョンケアに従事						
授業の学習内容	リハビリとは何か、基礎知識を学ぶ。 QOL(Quality of life)およびQOV(Quality of vision)の向上を目標とした視覚障害者リハビリテーションについて学ぶ。						
到達目標	社会におけるリハビリテーションの位置づけを理解できる。 車いすを安全に操作することができる。 点字の基礎知識について理解できる。 視覚障害者の基本的ガイドヘルプを実施できる。 視覚障害者を安全に誘導できる。						
評価方法と基準	定期試験 筆記(100%)						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義	視覚障害者リハビリテーションの理念を学び、説明することができる。		授業資料で予習・復習
2	4月28日	実習	視覚障害の臨床像を学び、患者のニーズと症状を関連付けて説明できる。		授業資料で予習・復習
3	5月12日	講義	ロービジョンフレンドリーな環境を学び、病院内での誘導・対応が実施できる。		授業資料で予習・復習
4	5月19日	講義	視覚障害者が利用できる福祉を学び、そのメリットを説明できる。		授業資料で予習・復習
5	5月26日	講義	医療におけるコミュニケーションの重要性を学び説明できる。		授業資料で予習・復習
6	6月2日	講義	移乗の動作を学び、実践することができる。		授業資料で予習・復習
7	6月9日	講義・実習	遮光眼鏡の構造と処方を学び、説明できる。		トラストメディカル配布資料
8	6月9日	講義・実習	拡大読書器や各種ICTの利用方法を学び、説明できる。		トラストメディカル配布資料
9	6月9日	講義・実習	拡大鏡(ルーペ)の構造と処方方法について学び、説明することができる。		トラストメディカル配布資料
10	6月16日	講義	社会におけるリハビリテーションの位置付けを学び、説明できる。医療人としてのリテラシーを学び説明できる。		授業資料で予習・復習
11	6月23日	講義・実習	点字の基礎を学び点字を読むことができる。		点字の名刺を作成し提出
12	6月30日	講義	視覚障害者ガイドヘルプ法を理解できる。		授業資料で予習・復習
13	7月7日	実習	基本ガイドヘルプ法を学び説明できる。		授業資料で予習・復習
14	7月14日	講義・実習	基本ガイドヘルプを実践できる。		授業資料で予習・復習
15	8月4日	講義	試験解説		
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>					

科目名 (英)	進級卒業研究 (Promotion & Graduation Research)	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	佐藤遼佳
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜1限
教員の略歴	眼科医院勤務を経て 仙台医健・スポーツ専門学校 視能訓練科 勤務 視能訓練士						
授業の学習内容	専門知識・技術の習得の過程で疑問に思ったことや興味を持ったテーマを問題発見から解決まで研究する。						
到達目標	研究テーマを決定し、データ収集や分析を行うことで研究の流れを習得する。						
評価方法と基準	クラス内報告会(50%)、研究計画書(30%)、提出物(20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態・時間帯	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/10	講義	概要説明・研究テーマを決定する	
2	9/17	演習	研究計画書を作成する	研究計画書の提出
3	9/24	演習	データを収集する	研究テーマに従って、データ収集
4	10/1	演習	データを収集する	〃
5	10/8	演習	データ収集・データの分析をする	〃
6	10/15	演習	データ収集・データの分析をする	〃
7	10/22	演習	PPT・抄録を作成する	PPT・抄録作成
8	10/29	演習	PPT・抄録を作成する	〃
9	11/5	演習	PPT・抄録を作成する	〃
10	11/12	演習	PPT・抄録を作成する	PPT・抄録データの提出
11	11/19	演習	PPT・抄録を修正する	
12	11/26	演習	PPT・抄録を修正する	PPT・抄録データの提出
13	12/3	演習	クラス内研究発表会①	
14	12/10	演習	クラス内研究発表会②	
15	12/17	演習	総括 研究発表会振り返り	
準備学習		時間外学習		

【使用教科書・教材・参考書】 □

17	6/21	講義	SCLの着脱方法を学び、説明できる。着脱・レンズケアにおける安全面への配慮を説明できる。	トラストメディカル配布資料参照
18	6/21	講義	SCLの着脱を実践し、装用感を体験する。レンズケアを体験する。	トラストメディカル配布資料参照
19	6/28	講義	SCL着脱指導の内容について理解し説明できる。また実際に指導ができる。	トラストメディカル配布資料参照
20	6/28	講義	SCLの処方の流れ、着脱練習の指導方法を実施できる。レンズケアの重要性を説明できる。	トラストメディカル配布資料参照
21	7/5	講義	屈折検査③小児視覚の特性が理解できる。	授業資料で復習
22	7/5	講義	屈折検査④小児の他覚的な視力検査が理解できる。	授業資料で復習
23	7/12	講義	屈折検査⑤屈折異常と明視範囲が理解できる。	授業資料で復習
24	7/12	講義	涙液検査の原理、方法、正常値を説明できる。	授業資料で復習
25	7/19	講義	瞳孔の解剖生理を理解できる。瞳孔検査の原理・方法を理解し、評価ができる。	授業資料で復習
26	7/19	講義	頭位異常の取り方を理解できる。	授業資料で復習
27	7/26	講義	頭部傾斜試験の原理と検査法を理解できる。	授業資料で復習
28	7/26	講義	確認試験	授業資料で復習
29	7/28	講義	確認試験解説	授業資料で復習
30	8/9	講義	試験解説	

準備学習 時間外学習

【使用教科書・教材・参考書】 □

視能学第二版、視能検査法ハンドブック、目でみる視力・屈折検査の進め方、理解を深めよう視力検査 屈折検査

科目名 (英)	生理光学実習	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	菅原みずえ
	(Minor Correctipn Study Practice)	授業 形態	講義・実 習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期 金曜1・2 限
学科・コース	視能訓練科						
教員の略歴	視能訓練士として大学病院に勤務経験あり 眼科一般検査全般及びロービジョンケアに従事						
授業の学習内容	生理光学で学んだ知識をもとに対象・検査手順・評価を学習する。						
到達目標	各種講義で学んだ知識をもとに検査・評価ができる。						
評価方法と基準	1 定期試験 筆記(試験60%、レポート20%、出席・チェック点20%) 実技(100%) ※実技試験にて不合格の場合 筆記試験の得点によらず当科目は不合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/23	実習	スペキュラーマイクロスコープ/角膜形状解析:各検査の検査原理を理解し、説明できる。正確な検査結果を出すことができる。 クロスシリンダー:クロスシリンダーの原理を説明できる。	レポート
2				
3	4/30	実習	スペキュラーマイクロスコープ/角膜形状解析:各検査の検査原理を理解し、説明できる。正確な検査結果を出すことができる。 クロスシリンダー:クロスシリンダーの原理を説明できる。	レポート
4				
5	5/7	実習	オフサルモ・ケラト:オフサルモメータの検査原理を理解し説明できる。オフサルモメータとオートレフケラトメータを使用し、正確な値を出せる。 クロスシリンダー:本軸決定ができる。	レポート
6				
7	5/14	実習	オフサルモ・ケラト:オフサルモメータの検査原理を理解し説明できる。オフサルモメータとオートレフケラトメータを使用し、正確な値を出せる。 クロスシリンダー:本軸決定ができる。	レポート
8				
9	5/21	実習	CL・細隙灯:HCLの処方方法を学び、被検者への着脱方法を理解し説明できる。HCLのフィッティングを正しく評価できる。 クロスシリンダー:乱視度数決定ができる。	レポート
10				
11	5/28	実習	CL・細隙灯:HCLの処方方法を学び、被検者への着脱方法を理解し説明できる。HCLのフィッティングを正しく評価できる。 クロスシリンダー:乱視度数決定ができる。	レポート
12				
13	6/4	実習	検影法:検影法の原理を理解し説明できる。 クロスシリンダー:授業資料を見ずに検査を行うことができる。	
14				
15	6/18	実習	検影法:検影法の原理を理解し説明できる。 クロスシリンダー:授業資料を見ずに検査を行うことができる。	
16				
17	6/25	実習	中間試験	
18				
19	7/2	実習	クロスシリンダー 授業資料を見ずに検査を行うことができる。 時間内に検査を終えることができる。	
20				
21			近見視力:年齢に応じ適切な度数を加入でき	

22	7/9	実習	る。 中和法:トリック法ができる。	レポート
23	7/16	実習	雲霧法・両眼開放視力:両眼開放視力を想定することができる。 検影法:正確な技術評価ができる。	レポート
24				
25	7/23	実習	雲霧法・両眼開放視力:両眼開放視力を想定することができる。 検影法:正確な技術評価ができる。	レポート
26				
27	7/30	実習	総括	
28				
29	8/13	講義	試験解説	
30				
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
教科書:眼科検査法ハンドブック、理解を深めよう視力検査屈折検査、目でみる視力・屈折検査の進めかた				

科目名 (英)	視能生理学実習 (Practical training in Optical Physinlogy)	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	木皿滋子
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 1・2限
教員の略歴	視能訓練士として眼科病院勤務						
授業の学習内容	相互実習を行ない、正しい検査手技によって正確な検査結果を出せるようになる。						
到達目標	各種講義で学んだ知識をもとに検査・評価ができる。						
評価方法と基準	定期試験 筆記(試験60%、レポート20%、出席・チェック点20%) 実技(100%) ※実技試験にて不合格の場合、筆記試験の得点によらず当科目は不合格とする。						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	4/21	実習	外眼部検査:眼球突出・瞼裂幅の測定ができる。 眼圧検査:シッツ、ノンコン、アキュペンの準備、接遇・誘導・検査説明・操作・記載が出来る。	レポート提出			
2							
3	4/22	実習	外眼部検査:眼球突出・瞼裂幅の測定ができる。 眼圧検査:シッツ、ノンコン、アキュペンの準備、接遇・誘導・検査説明・操作・記載が出来る。	レポート提出			
4							
5	5/6	実習	調節検査:調節の仕組みを理解できる。調節力を求める計算式から問題を解くことができる。 眼圧検査:シッツ、ノンコン、アキュペンの準備、接遇・誘導・検査説明・操作・記載が出来る。	レポート提出			
6							
7	5/13	実習	調節検査:調節の仕組みを理解できる。調節力を求める計算式から問題を解くことができる。 眼圧検査:シッツ、ノンコン、アキュペンの準備、接遇・誘導・検査説明・操作・記載が出来る。	レポート提出			
8							
9	5/20	実習	石原式近点計:適切な検査説明ができる。遠点測定のために加入するレンズ度数を設定できる。 涙液検査:涙液の構造と生理を理解し説明できる。シルマー試験、綿糸法、メンスカスの評価の方法を理解し説明できる。	レポート提出			
10							
11	5/27	実習	HFAオリエンテーション (科目の概要・評価)講義、検査法の原理について学ぶ。 検査対象となる疾患を学び、述べる事ができる。				
12							
13	6/3	実習	石原式近点計:適切な検査説明ができる。遠点測定のために加入するレンズ度数を設定できる。 涙液検査:涙液の構造と生理を理解し説明できる。シルマー試験、綿糸法、メンスカスの評価の方法を理解し説明できる。	レポート提出			
14							

15	6/10	実習	HFA ハンフリー視野計の検査目的と意義を理解する。適切な検査説明をし、正しい検査結果を出すことができる。また、検査成績の判定ができる。	
16				
17	6/17	実習	ダコモ: 器械の操作を理解し、結果を評価することができる。 涙液検査: シルマー試験、綿糸法、メニスカスの評価を安全に実施できる。	レポート提出
18				
19	6/24	実習	ダコモ: 器械の操作を理解し、結果を評価することができる。 涙液検査: シルマー試験、綿糸法、メニスカスの評価を安全に実施できる。	レポート提出
20				
21	7/8	実習	中間試験 1～21コマの間に習得した検査の中から行う。	
22				
23	7/15	実習	HFA ハンフリー視野計の検査目的と意義を理解する。適切な検査説明をし、正しい検査結果を出すことができる。また、検査成績の判定ができる。	
24				
25	7/22	実習	三柱深径覚計: 適切な検査説明ができる。器械の操作ができる。 コントラスト視力: 縮視力の原理を理解でき、少数視力への換算ができる。コントラスト視力を測定できる。	レポート提出
26				
27	7/29	実習	三柱深径覚計: 適切な検査説明ができる。器械の操作ができる。 コントラスト視力: 縮視力の原理を理解でき、少数視力への換算ができる。コントラスト視力を測定できる。	レポート提出
28				
29	8/11	講義	試験解説(内部教員)	
30	8/12	講義	試験解説(木皿先生)	
準備 学習			実習室にて自主練習を行なって下さい。	
【使用教科書・教材・参考書】 視能学第2版(文光堂) 眼科検査法ハンドブック第4版(医学書院) □				

科目名 (英)	視能検査学実習 I (Practical Training in Orthoptic Examination I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	菅原みずえ
		授業 形態	講義・実 習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期 月曜日 曜日・時限 1・2限
学科・コース	視能訓練科						
教員の略歴	視能訓練士として大学病院に勤務経験あり 眼科一般検査全般及びロービジョンケアに従事						
授業の学習内容	視能検査学に基づいた検査方法を実機を用いて実習する。 OCTの基礎知識や、OCT実機を使用して操作法を学ぶ。						
到達目標	視能検査学に基づき、その検査法を実際の手順に従って実践できる。 OCTの検査方法及び解析結果の見方が理解できるようになる。						
評価方法と基準	定期試験 筆記(試験60%、レポート20%、出席・チェック点20%) 実技(100%) ※実技試験にて不合格の場合、筆記試験の得点によらず当科目は不合格とする。						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	9/6	実習	屈折検査:乱視表、クロスシリンダーを用いて正しく検査ができる。	屈折検査:乱視表、クロスシリンダーの原理について復習する。			
2			眼底カメラ:散瞳眼底カメラの操作方法を学び、正しく操作することができる。後極部の撮影ができる。				
3	9/13	実習	屈折検査:乱視表、クロスシリンダーを用いて正しく検査ができる。	屈折検査:乱視表、クロスシリンダーの原理について復習する。			
4			眼底カメラ:散瞳眼底カメラの操作方法を学び、正しく操作することができる。後極部の撮影ができる。				
5	9/27	実習	Worth4灯:検査原理を理解し正しく検査、判定ができる。	実習内容についてレポートを作成する。			
6			眼底カメラ:散瞳眼底カメラにおいて周辺部網膜の撮影ができる。				
7	10/4	実習	Worth4灯:検査原理を理解し正しく検査、判定ができる。	実習内容についてレポートを作成する。			
8			眼底カメラ:散瞳眼底カメラにおいて周辺部網膜の撮影ができる。				
9	10/18	実習	OCTの基礎について講義し、実機にてライン及びマップスキャンを撮影する。	実習内容についてレポートを作成する。			
10			バゴリニ・サイクロ・Maddox:各検査原理を理解し、正しく検査・判定できる。				
11	10/25	実習	OCT実機にてディスクスキャン撮影、試験の予行演習バゴリニ・サイクロ・Maddox:各検査原理を理解し、正しく検査・判定できる。	実習内容についてレポートを作成する。			
12							
13	11/1	実習	OCT実機にてディスクスキャン撮影、試験の予行演習バゴリニ・サイクロ・Maddox:各検査原理を理解し、正しく検査・判定できる。	実習内容についてレポートを作成する。			
14							
15	11/8	実習	OCT実機にてディスクスキャン撮影、試験の予行演習バゴリニ・サイクロ・Maddox:各検査原理を理解し、正しく検査・判定できる。	実習内容についてレポートを作成する。			
16							
17	11/15	実習	不等像検査:不等像を理解し、正しく検査・判定できる。	実習内容についてレポートを作成する。			
18			中心フリッカ:臨界融合頻度を理解し、正しく検査・判定ができる。				

19	11/22	実習	不等像検査: 不等像を理解し、正しく検査・判定できる。 中心フリッカ: 臨界融合頻度を理解し、正しく検査・判定ができる。	実習内容についてレポートを作成する。
20				
21	11/29	実習	Aモード: 測定原理・方法を理解し、測定ができる。 光学的眼軸長測定検査との違いが説明できる。 HESS: 注視野: 眼球運動を理解し、正しく検査・評価ができる。	実習内容についてノートにまとめる。
22				
23	12/6	実習	Aモード: 測定原理・方法を理解し、測定ができる。 光学的眼軸長測定検査との違いが説明できる。 HESS: 注視野: 眼球運動を理解し、正しく検査・評価ができる。	実習内容についてノートにまとめる。
24				
25	12/13	実習	Bモード: 測定原理・方法を理解し、測定ができる。 動的測定と、静的測定の違いを説明できる。 バゴリニ・サイクロ・Maddox: 各検査原理を理解し、正しく検査・判定できる。	実習内容についてレポートを作成する。
26				
27	12/20	実習	Bモード: 測定原理・方法を理解し、測定ができる。 動的測定と、静的測定の違いを説明できる。 HESS: 注視野: 眼球運動を理解し、正しく検査・評価ができる。	実習内容についてレポートを作成する。
28				
29	1/31	講義	試験解説を行う。	解説内容をノートにまとめる。
30				
準備学習 時間外学習			内容の濃いレポートを作成するために、積極的に実習に参加してください。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
教科書: 眼科検査法ハンドブック、理解を深めよう視力検査屈折検査、目でみる視力・屈折検査の進めかた				

科目名 (英)	神経眼科学 I (Neuron Ophthalmology II)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	東北大学病院 医師
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期・水 曜 曜日・時限 2限
教員の略歴	東北大学病院眼科より眼科専門医が講師として来校						
授業の学習内容	眼球運動障害について学ぶ。 眼振と眼振様運動について学ぶ。 神経解剖学について学ぶ。 瞳孔異常について学ぶ。 眼瞼と顔面表情筋の障害について学ぶ。 高次視機能障害について学ぶ。 眼疾患と全身疾患について学ぶ。 視神経疾患について学ぶ。 乳頭の異常について学ぶ。 視交叉、後頭葉の病変について学ぶ。 眼窩疾患と海面静脈洞病変について学ぶ。 偏頭痛とその他頭痛について学ぶ。						
到達目標	国家試験対策のために重要な皮膚から末梢病変を学習し、鑑別診断から治療までを系統立てて説明できる。						
評価方法と基準	1 定期試験 筆記 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	9月8日	講義	神経眼科に必要な神経経路が説明できる。	小テスト	
2	9月15日	講義	視路を理解し、視野障害から障害部位を判定できる。	小テスト	
3	9月22日	講義	瞳孔の解剖生理を理解し、散瞳・縮瞳・瞳孔不同をきたす疾患を説明することができる。また、瞳孔反応の異常について判断できる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
4	9月29日	講義	全身疾患が誘因となる眼疾患を学ぶ。糖尿病・動脈硬化・高血圧の病態を簡潔に説明できる。	小テスト	
5	10月6日	講義	視神経疾患について理解できる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
6	10月13日	演習	確認試験(内部教員分)を行う。	確認試験	
7	10月20日	講義	確認試験解説を行う。	解説内容をノートにまとめる。	
8		講義	眼球運動障害について学ぶ。 眼振と眼振様運動について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
9		講義	神経解剖学について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
10		講義	瞳孔異常について学ぶ。 眼瞼と顔面表情筋の障害について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
11		講義	高次視機能障害について学ぶ。 眼疾患と全身疾患について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	講義内容に関してノートにまとめる。	

12		講義	視神経疾患について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	講義内容に関してノートにまとめる。
13		講義	乳頭の異常について学ぶ。 視交叉、後頭葉の病変について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	講義内容に関してノートにまとめる。
14		講義	眼窩疾患と海面静脈洞病変について学ぶ。 偏頭痛とその他頭痛について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	講義内容に関してノートにまとめる。
15	2/2	講義	試験解説を行う。	解説内容をノートにまとめる。
準備学習 時間外学習			講義内容に対応する教科書のページを熟読し、ノートまとめをする。	
【使用教科書・教材・参考書】 視能学 第2版・神経眼科学 臨床のために				

科目名 (英)	眼疾病学 I (Ophthalmology I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	東北大学病院 医師
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期・水 曜 曜日・時限 1限
学科・コース	視能訓練科						
教員の略歴	東北大学病院眼科より眼科専門医が講師として来校						
授業の学習内容	<p>眼瞼、涙器、網膜の構造について学ぶ。 眼瞼、結膜疾患の原因、病態、臨床所見、治療方法について学ぶ。 角膜・強膜の構造。角膜、胸膜疾患の原因、病態、臨床所見、治療方法について学ぶ。 視覚器の解剖、視機能の評価について学ぶ。 網膜硝子体疾患の原因、病態、臨床所見、治療方法を学ぶ。 水晶体疾患について、白内障を原因別に分類し、病態・臨床所見・治療法を学ぶ。 緑内障について学ぶ。 小児眼科、弱視、斜視について学ぶ。 ぶどう膜の解剖・生理について学ぶ。ぶどう膜疾患の原因、病態、臨床所見、治療法について学ぶ。 網膜硝子体の構造と生理について学ぶ。網膜硝子体検査の方法について学ぶ。 外傷・全身疾患と眼の関係を学ぶ。</p>						
到達目標	視能訓練士が関わる眼疾患を中心にその病態、検査法、鑑別診断、治療法を説明できる。						
評価方法と基準	定期試験 筆記 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	9月8日	講義	眼疾患に必要な解剖生理学が理解できる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
2	9月15日	講義	水晶体の解剖生理を理解し、白内障の原理から検査、治療まで説明できる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
3	9月22日	講義	緑内障の種類や特徴、検査、治療までを学び、過去問を解くことができる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
4	9月29日	講義	全身疾患が原因となり現れる眼疾患について学ぶ。糖尿病、動脈硬化、高血圧の病態を簡潔に説明できる。	講義内容に関してノートにまとめる。	
5	10月6日	講義	心因性視覚障害の特徴及び検査を説明できる。	講義内容に関してノートにまとめる。。	
6	10月13日	演習	8～12コマの授業内容で確認試験を実施する。	確認試験	
7	10月20日	講義	確認試験の解説を行う。	解説内容をノートにまとめる。	
8		講義	眼瞼、結膜疾患の原因、病態、臨床所見、治療方法について学ぶ。 角膜・強膜の構造。角膜、胸膜疾患の原因、病態、臨床所見、治療方法について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	現代の眼科学(改訂第12版) 第4章眼瞼疾患(P80～P87)、第6章結膜疾患(P96～P106)熟読する。	
9		講義	視覚器の解剖、視機能の評価について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	現代の眼科学(改訂第12版) 第1章解剖・発生(P2～P22)熟読する。	
10		講義	網膜硝子体疾患の原因、病態、臨床所見、治療方法を学ぶ。 水晶体疾患について、白内障を原因別に分類し、病態・臨床所見・治療法を学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	現代の眼科学(改訂第12版) 第9章網膜硝子体疾患(P162～P211)熟読する。	

11		講義	水晶体疾患について、白内障を原因別に分類し、病態・臨床所見・治療法を学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	現代の眼科学(改訂第12版) 第10章(P218～P232)熟読する。
12		講義	緑内障について学ぶ。 小児眼科、弱視、斜視について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	現代の眼科学(改訂第12版) 第11章緑内障(P234～P248)、第13章小児眼科(P274～P296)熟読する。
13		講義	ぶどう膜の解剖・生理について学ぶ。ぶどう膜疾患の原因、病態、臨床所見、治療法について学ぶ。 網膜硝子体の構造と生理について学ぶ。網膜硝子体検査の方法について学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	現代の眼科学(改訂第12版) 第8章ぶどう膜疾患(P130～P158)熟読する。
14		講義	外傷・全身疾患と眼の関係性を学ぶ。 以上に関する国家試験問題を解説する事ができる。	現代の眼科学(改訂第12版) 第16章全身病と眼(P330～P342)、第17章外傷(P344～P357)熟読する。
15	2月2日	講義	試験解説を行う。	解説内容をノートにまとめる。
準備学習 時間外学習			眼疾病学は基本的に現代の眼科学・眼疾患ビジュアルブックを参考にノート作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】 視能学 第2版・現代の眼科学 改訂12版・眼疾患ビジュアルブック				

科目名 (英)	ロービジョン医学	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	小林茂樹
	(Low Vision Medicine)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 水曜3限
学科・コース	視能訓練科						
教員の略歴	<p>【小林茂樹先生】 日本医科大学付属病院医員助手(眼科)(3年)、下館市民病院 眼科医長(3年)、医療法人 明信会 今泉眼科病院(2年)、 現 医療法人社団 小林眼科医院</p> <p>【内部】仙台医健・スポーツ専門学校 視能訓練科 勤務 視能訓練士</p>						
授業の学習内容	<p>視覚障害者は必ずしも全盲者を指すものではない。また、視力障害だけでなく視野障害による見えにくさというものもある。 ロービジョン＝低視力者の見えにくさを理解し、評価、対応の実際を学ぶ。 病態別のロービジョンケア及び視覚障害の原因となり得る疾患について学ぶ。</p>						
到達目標	<p>視覚障害者等級について検査結果から評価できる。 患者主訴によって相応しいロービジョンエイドを選択できる。 必要倍率を計算し、患者の求める拡大率を求めることができる。 視覚障害の原因となる各種疾患について説明できる。</p>						
評価方法と基準	定期試験(100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月16日	講義	ロービジョンの定義について理解できる。	国家試験過去問小テスト
2	6月23日	講義	視覚障害等級(視力)について理解できる	国家試験過去問小テスト
3	6月26日	講義	点眼総論、眼の解剖 解剖について理解し、説明することができる。	
4	6月26日	講義	前眼部疾患 病因・病態・臨床所見・治療方法を理解できる	
5	6月30日	講義	視覚障害等級(視野)について理解できる。	国家試験過去問小テスト
6	7月3日	講義	アレルギー性結膜炎 病因・病態・臨床所見・治療方法を理解できる	
7	7月3日	講義	白内障、緑内障 病因・病態・臨床所見・治療方法を理解できる	
8	7月7日	講義	ロービジョンエイドの分類が理解できる。	国家試験過去問小テスト
9	7月10日	講義	網膜疾患 病因・病態・臨床所見・治療方法を理解できる	
10	7月10日	講義	硝子体疾患 病因・病態・臨床所見・治療方法を理解できる	
11	7月10日	講義	ぶどう膜疾患 病因・病態・臨床所見・治療方法を理解できる	
12	7月14日	講義	必要倍率を計算できる。	国家試験過去問小テスト
13	7月21日	講義	日常生活用品・ロービジョンケアの注意点 ロービジョンエイドの処方について理解できる	国家試験過去問小テスト
14	8月4日	講義	試験解説(内部)	
15	8月4日	講義	試験解説(小林先生)	
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

視能学第2版・新しいロービジョンケア・ロービジョンケアの実際

科目名 (英)	視能訓練学 I (Ortoptics I)	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	佐藤遼佳
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
教員の略歴	眼科医院勤務を経て 仙台医健・スポーツ専門学校 視能訓練科 勤務 視能訓練士						
授業の学習内容	斜視・弱視など両眼視機能障害の基本的知識を確認しながら、検査から鑑別診断、訓練方法までを学ぶ。						
到達目標	両眼視機能障害の鑑別診断から訓練方法までを系統的に説明できる。						
評価方法と基準	1 定期試験(100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/22	講義	オリエンテーション・弱視の基本的知識を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
2	5/6	講義	屈折異常弱視・形態覚遮断弱視が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
3	5/13	講義	不同視弱視・微小斜視弱視が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
4	5/20	講義	斜視弱視が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
5	5/27	講義	総括1(講義1回～4回の確認試験)を行う。	講義内容をノートにまとめる。
6	6/3	講義	総括1(確認試験)の解答、解説を行う。	講義内容をノートにまとめる。
7	6/10	講義	斜視の基本的知識が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
8	6/17	講義	先天内斜視・調節性内斜視が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
9	6/24	講義	間欠性外斜視が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
10	7/1	講義	交代性上斜視が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
11	7/8	講義	下斜筋過動・偽斜視が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
12	7/15	講義	総括2(講義7回～11回の確認試験)を行う。	講義内容をノートにまとめる。
13	7/22	講義	総括2(確認試験)の解答、解説を行う。	講義内容をノートにまとめる。
14	7/29	講義	総括3(講義1回～13回)重要点が理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
15	8/12	講義	試験解説	講義内容をノートにまとめる。

準備学習 時間外学習	
------------	--

【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>

科目名 (英)	視能訓練学Ⅱ (Ortoptics Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤遼佳
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期 月曜・木曜 曜日・時限 3限 1・2限
教員の略歴	眼科医院勤務を経て 仙台医健・スポーツ専門学校 視能訓練科 勤務 視能訓練士						
授業の学習内容	斜視・弱視など両眼視機能障害の基本的知識を確認しながら、検査から鑑別診断、訓練方法までを学ぶ。						
到達目標	両眼視機能障害の鑑別診断から訓練方法までを系統的に説明できる。						
評価方法と基準	定期試験(100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/6	講義	眼振の分類と種類を学ぶ。生理的眼振の説明ができ、病的眼振との区別ができる。	授業内容のノートまとめ
2	9/9	講義	endular nystagmusとjerky nystagmusの運動面と機能面で区別ができ、簡潔に説明できる。	授業内容のノートまとめ
3	9/9	講義	病的眼振の原因となり得る障害部位を説明する事ができる。	授業内容のノートまとめ
4	9/13	講義	眼振に対する観血的治療法の名称と原理を学び、簡潔に説明できる。	授業内容のノートまとめ
5	9/16	講義	眼振に対する非観血的療法(主に手术的療法)について学び、名称と原理が簡潔に説明できる。	授業内容のノートまとめ
6	9/16	講義	1-5までの眼振に関する確認試験を行う。	確認試験
7	9/27	講義	眼振確認試験の解説を行う。	不正解問題の解説ノートを作成
8	9/30	講義	麻痺性斜視:動眼神経麻痺、外転神経麻痺が理解できる。	授業内容のノートまとめ
9	9/30	講義	麻痺性斜視:滑車神経麻痺、Bielschowsky頭部傾斜試験が理解できる。	授業内容のノートまとめ
10	10/4	講義	特殊斜視:Brown症候群、Duane症候群が理解できる。	
11	10/7	講義	特殊斜視:重症筋無力症、外眼筋ミオパチーが理解できる。	
12	10/7	講義	核上性眼球運動障害:解剖と神経回路について理解する。	授業内容のノートまとめ
13	10/14	講義	確認試験(講義8~9、10~11)、試験解説を行う。	授業内容のノートまとめ
14	10/14	講義	核上性水平眼球運動障害:傍正中橋網様体付近の障害を理解できる。	授業内容のノートまとめ
15	10/18	講義	核上性水平眼球運動障害:核間麻痺を理解できる。	授業内容のノートまとめ
16	10/21	講義	核上性水平眼球運動障害:one and a half syndromeが理解できる。	授業内容のノートまとめ
17	10/21	講義	核上性垂直眼球運動障害:Parinaud症候群が理解できる。	授業内容のノートまとめ
18	10/25	講義	核上性垂直眼球運動障害:Skew deviationが理解できる。	授業内容のノートまとめ
19	10/28	講義	核上性先天眼球運動障害:double elevator palsyが理解できる。	確認試験
20	10/28	講義	核上性先天眼球運動障害:general fibrosis syndromeが理解できる。	不正問題の解説ノートを作成
21	11/1	講義	斜視の光学的矯正 視能矯正の段階に応じた屈折矯正について理解できる。	授業内容のノートまとめ
22	11/4	講義	斜視の光学的矯正 視能矯正の段階に応じた屈折矯正について理解できる。	授業内容のノートまとめ

23	11/4	講義	斜視の光学的矯正 プリズム眼鏡の原理を理解できる。	授業内容のノートまとめ
24	11/8	講義	斜視のボツリヌス治療 ボツリヌス毒素の副作用と適応を述べるができる。	授業内容のノートまとめ
25	11/11	講義	斜視手術 各術式について理解できる。	授業内容のノートまとめ
26	11/11	講義	斜視手術 各術式について理解できる。	授業内容のノートまとめ
27	11/15	講義	斜視手術 合併症について理解できる。	授業内容のノートまとめ
28	11/18	講義	斜視手術 合併症について理解できる。	授業内容のノートまとめ
29	11/18	講義	眼球運動検査 Hess赤緑試験の原理を理解し、結果の判定ができる。	授業内容のノートまとめ
30	11/22	講義	総括4(講義25,26,27,28回の確認試験を行う。)	確認試験
31	11/25	講義	総括4(確認試験)の解答、解説を行う。	不正問題の解説ノート作成
32	11/25	講義	眼球運動検査	授業内容のノートまとめ
33	11/29	講義	斜視視能矯正 斜視視能矯正の目的を理解し、大型弱視鏡による訓練方法を説明できる。	授業内容のノートまとめ
34	12/2	講義	斜視視能矯正 斜視視能矯正の目的を理解し、大型弱視鏡による訓練方法を説明できる。	授業内容のノートまとめ
35	12/2	講義	Heringの法則を理解し説明できる。	授業内容のノートまとめ
36	12/6	講義	Sherringtonの法則を理解し説明できる。	授業内容のノートまとめ
37	12/9	講義	Worth4灯を理解し説明できる。	授業内容のノートまとめ
38	12/9	講義	Bagolini線条試験を理解し説明できる。	授業内容のノートまとめ
39	12/13	講義	明室でPrism vergenceを測定(赤ガラス・調節目標・固視光を用いた輻湊・開散・垂直)	授業内容のノートまとめ
40	12/16	講義	暗室でPrism vergenceを測定(赤ガラス・調節目標・固視光を用いた輻湊・開散・垂直)	授業内容のノートまとめ
41	12/16	講義	心因性の視力障害・視野障害・色覚障害の検査所見を理解し説明できる。	授業内容のノートまとめ
42	12/20	講義	心因性視覚障害の診断に有用な検査の具体的な測定方法を学ぶ。心因性視覚障害と詐病を区別して考えることができる。	授業内容のノートまとめ
43	12/23	講義	確認試験を行う。	確認試験
44	12/23	講義	確認試験解説を行う。	解説内容をノートにまとめる。
45	2/3	講義	試験解説を行う。	解説内容をノートにまとめる。
準備学習 時間外学習			国家試験で多く出題される分野であるため、授業ごとにしっかりノート作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 視能学第2版・眼科検査法ハンドブック				

科目名 (英)	視能訓練学実習 I	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	菅原みずえ
	(Practical Trainig in Orthoptics I)	授業 形態	講義・実 習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期 火曜1・2 限
学科・コース	視能訓練科						
教員の略歴	視能訓練士として大学病院に勤務経験あり 眼科一般検査全般及びロービジョンケアに従事						
授業の学習内容	眼位、眼球運動、両眼視機能などの知識から各種診断的検査を行う。 眼位検査および大型弱視鏡を用いての検査の基礎知識や基本手技を習得する。						
到達目標	眼位検査におけるさまざまな所見を説明できる。 患者所見から必要な検査・スライドを選択できる。 水平斜視の眼位検査を通して眼位を正しく定性、定量できる。						
評価方法と基準	定期試験 筆記(試験60%、レポート20%、出席・チェック点20%) 実技(100%) ※実技試験にて不合格の場合、筆記試験の得点によらず当科目は不合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/20	講義	△cover test	レポート提出
2			眼位の基礎知識について理解できる。	
3	4/27	講義	大型弱視鏡	レポート提出
4			両眼視機能の概要について理解できる。	
5	5/11	講義	△cover test	レポート提出
6			眼位検査の原理・方法について理解できる。	
7	5/18	講義	大型弱視鏡	レポート提出
8			斜視検査の原理・方法について理解できる。	
9	5/25	実習	大型弱視鏡:基本操作ができる。	レポート提出
10			△cover test:遠見/近見CTが実践できる。	
11	6/1	実習	大型弱視鏡:単眼眼位(γ角)測定が実践できる。	レポート提出
12			△cover test:遠見/近見CUTが実践できる。	
13	6/8	実習	大型弱視鏡:両眼眼位(固視点減法)測定が実践できる。	レポート提出
14			△cover test:遠見/近見ACT法が実践できる。	
15	6/15	実習	大型弱視鏡:両眼眼位検査(交代点減法)が実践できる。	レポート提出
16			△cover test:遠見/近見定性検査が実践できる。	
17	6/22	実習	大型弱視鏡:両眼視機能(同時視)検査が実践できる。	レポート提出
18			△cover test:遠見/近見SPCTが実践できる。	
19	6/29	実習	大型弱視鏡:両眼視機能検査(網膜対応)が実践できる。	レポート提出
20			△cover test:遠見/近見APCTが実践できる。	
21	7/6	実習	大型弱視鏡:両眼視機能検査(融像)が実践できる。	レポート提出
22			△cover test:遠見/近見定量検査が実践できる。	
23	7/13	実習	確認試験	授業資料で予習・復習
24				
25	7/20	実習	大型弱視鏡:両眼視機能検査(立体視)が実践できる。	レポート提出
26			△cover test:遠見/近見位検査が実践できる。	
27	7/27	実習	大型弱視鏡:症例を想定した検査ができる。	レポート提出
28			△cover test:時間内に遠見/近見眼位検査ができる。	
29	8/10	講義	試験解説	
30				
準備学習 時間外学習		積極的に実習室での自主練習を行ってください。		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
視能学・眼科検査法ハンドブック・講義資料				

科目名 (英)	視能訓練学実習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤遼佳
	(Practical Trainig in Orthoptics Ⅱ)	授業 形態	講義・実 習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期 火曜日 1.2限
学科・コース	視能訓練科						
教員の略歴	眼科医院勤務を経て 仙台医健・スポーツ専門学校 視能訓練科 勤務 視能訓練士						
授業の学習内容	眼位、眼球運動、両眼視機能などの知識から各種診断的検査を行う。 眼位検査および大型弱視鏡を用いての検査の基礎知識や基本手技を習得する。						
到達目標	【内部】 眼位検査におけるさまざまな所見を説明できる。 患者所見から必要な検査・スライドを選択できる。 水平斜視、上下斜視の眼位検査を通して眼位を正しく定性、定量できる。						
評価方法と基準	定期試験 筆記(試験60%、レポート20%、出席・チェック点20%) 実技(100%) ※実技試験にて不合格の場合、筆記試験の得点によらず当科目は不合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/7	実習	近見ステレオテスト:原理、方法、対象、距離を理解し、検査を行うことができる。 AC/A比: gradient法, heterophoria法を用いてAC/A比を測定することができる。	レポート提出
2				
3	9/14	実習	近見ステレオテスト:原理、方法、対象、距離を理解し、検査を行うことができる。 AC/A比: gradient法, heterophoria法を用いてAC/A比を測定することができる。	レポート提出
4				
5	9/21	実習	赤ガラス: 検査原理を理解し正しく検査、判定ができる。 AI・4△BOテスト: 両眼に起こる眼球運動を観察し、正常か異常かの判断ができる。	レポート提出
6				
7	9/28	実習	赤ガラス: 検査原理を理解し正しく検査、判定ができる。 AI・4△BOテスト: 両眼に起こる眼球運動を観察し、正常か異常かの判断ができる。	レポート提出
8				
9	10/5	実習	眼位: 近見CT、CUT、ACTが実践できる。 大型弱視鏡: 基本操作が実践できる。	レポート提出
10				
11	10/12	実習	眼位: 近見CT、CUT、ACTが実践できる。 大型弱視鏡: 基本操作が実践できる。	レポート提出
12				
13	10/19	実習	眼位: 近見SPCT、APCTが実践できる。 大型弱視鏡: 両眼眼位検査が実践できる。	レポート提出
14				
15	10/26	実習	眼位: 近見SPCT、APCTが実践できる。 診断的むき眼位: むき、ひき、よせ運動が実践できる。検査結果と必要事項を正しく記載できる。	レポート提出
16				
17	11/2	実習	大型弱視鏡: 両眼眼位検査が実践できる。 診断的むき眼位: むき、ひき、よせ運動が実践できる。検査結果と必要事項を正しく記載できる。	レポート提出
18				
19	11/9	実習	確認テスト1	
20				
21	11/16	実習	眼位: 時間内に眼位検査ができる。 大型弱視鏡: 症例を想定した検査が実践できる。	
22				
23	11/30	実習	確認テスト2	
24				
25	12/7	実習	融像幅: プリズムを用いて融像幅を測定することができる。	レポート提出
26				
27	12/14	実習	眼位: 時間内に眼位検査ができる。	レポート提出

28		大目	大型弱視鏡;症例を想定した検査が実践できる。	レポート作成
29	2/1	講義	試験解説をする。	解説内容をノートにまとめる。
30				
準備学習 時間外学習			積極的に実習室での自主練習を行ってください。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
視能学・眼科検査法ハンドブック・講義資料				